

地域包括ケアシステム シンポジウム

平成30年 **10月12日(金)**

14:00~16:00 (受付開始 13:30)

場所: サンスクエア堺 B棟 サンスクエアホール
堺市堺区田出井町2-1

定員: 先着400名

入場無料
申込不要

支え合い、いきいきと 暮らせるまち堺



第1部 基調講演

テーマ「地域住民と共に創る地域包括ケアシステム」

講師: 黒田 研二氏 関西大学 人間健康学部 教授



第2部 パネルディスカッション

テーマ「地域のつながりと支え合いを育む様々な取組」

・医療介護等関係者の取組

岡原 和弘氏 堺市医師会 副会長

古川 英宏氏 さかい地域包括・在宅介護支援センター協議会 副代表幹事

・地域での取組

中辻さつ子氏 堺市民生委員児童委員連合会 副会長

下田 丈太氏 堺市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

・自分でできる健康づくり

山下 和彦氏 大阪大学大学院医学系研究科 特任教授

お問い合わせ

堺市健康福祉局 長寿社会部 地域包括ケア推進課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 電話: 072-228-0375 ファックス: 072-228-8918

主催: 堺市

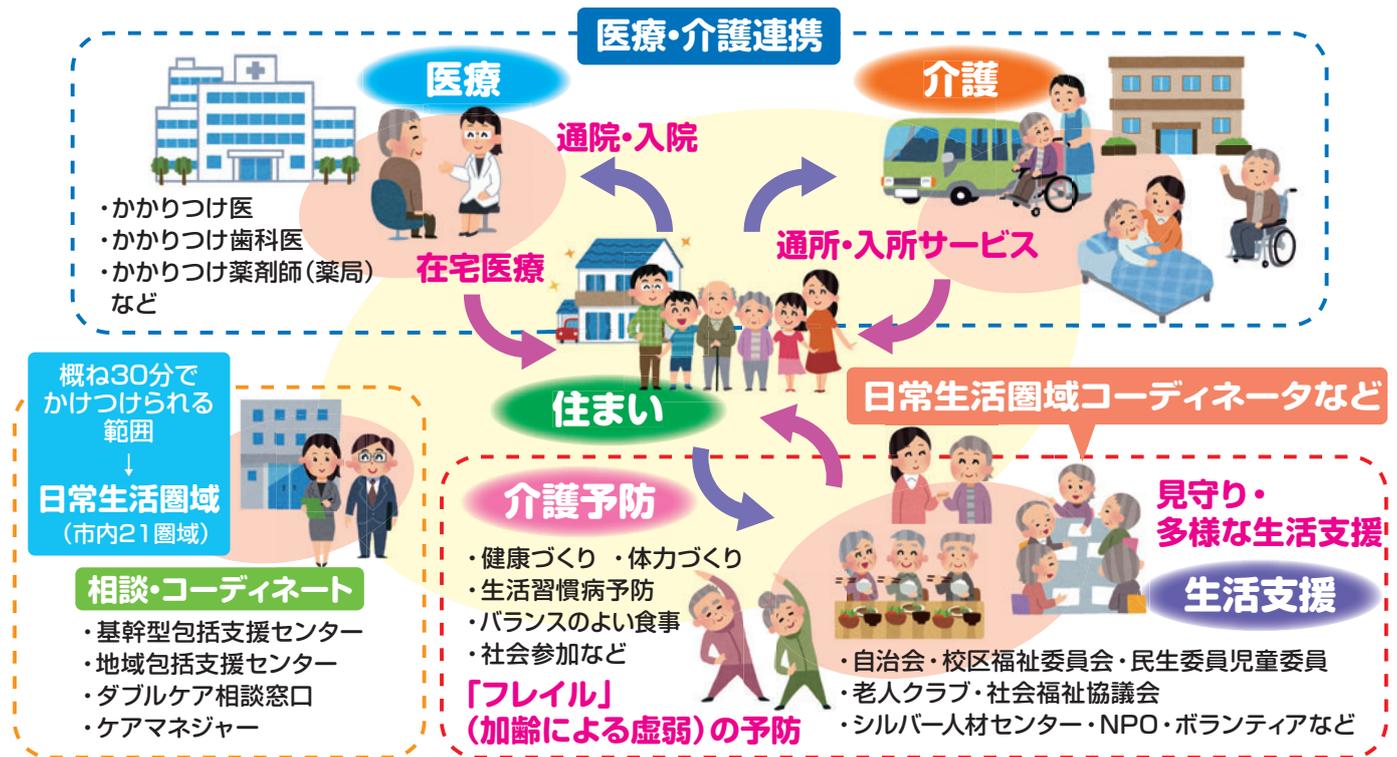
会場案内図



JR阪和線「堺市」駅下車約300m

※ご来場の際には、電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。

地域包括ケアシステムとは



◎可能な限り住み慣れた地域で!

高齢者が尊厳をもって人生の最期まで自分らしく暮らし続けるために。

◎地域の特性に応じて!

医療、介護、介護予防、住まい及び生活支援が一体的かつ継続的に提供される体制が重要です。

◎これを実現するために!

自らできる範囲で自ら取り組むこと(自助)、お互いに助け合うこと(互助)、社会保険制度(共助)、公共的な制度・事業を通じて生活支援などを行うこと(公助)の考え方にに基づき、市、医療介護等関係者、市民みんなで役割分担が必要となります。

世代を超えて受け継ぐことが大切です

市のみんなが一体となって取り組み、これを世代を超えて受け継ぎ、いつまでも安心して心豊かに暮らし続けるまちづくりを進めましょう。

○自助=自らのできる範囲で、健康づくり、介護予防等に自ら取り組むことをいう。

自助
(本人)

- ・健康づくり、介護予防、生きがいづくり
- ・おでかけ応援制度の活用
- ・社会参加

◇地域活動を通じて、地域とのつながりをもつ。

- ・地域のつながりハート事業
- ・認知症サポーター
- ・さかいお節介士

○互助=家族、地域の支え合い等により助け合うことをいう。

互助
(地域)

- ・家族での支え合い
- ・ご近所同士の助け合い
(ちょっとしたお手伝い、困ったときはお互い様)
- ・ボランティア活動(見守り活動など)
- ・住民組織の活動
(自治連合協議会、民生委員児童委員、校区福祉委員会、老人クラブなど)

○共助=介護保険その他の社会保険制度を始め、仕組みが組織化及び制度化された地域の助け合い活動などによりともに助け合うことをいう。

共助
(被保険者)

- ・介護保険
 - ・医療保険
 - ・社会保険
- ・左記のほか、NPOなどによる地域の助け合い活動等のうち、組織化、制度化されて安定的な運営で、サービス提供が可能なもの

○公助=自助、互助及び共助では支えきれない部分を税による社会保障などにより補完することをいう。

公助
(市・府・国)

- ・税による公の社会保障
- ・一般財源による高齢者福祉
- ・人権擁護、虐待対策等